



平成30年10月10日(水)より当院は、

藤田医科大学 ばんたね病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL

に病院名称を変更します。

「藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院」として長きにわたり地域の皆様に親しまれて参りましたが、来る平成30年10月10日(水)より、大学及び病院名称を変更いたします。今後も地域に根ざした病院として、安全かつ質の高い医療を提供できるよう取り組んで参ります。



病院機能評価の更新認定を受けました



平成30年7月28日、当院は第三者機関である財団法人日本医療機能評価機構による審査の結果、機構の定める認定基準を達成しているとして更新認定を受けることができました。今回の認定で平成20年7月の初回認定以来3度目となります。

当院は今後も「患者さんを中心とした安全で良質な医療提供」に努めて参ります。



入退院支援室のご紹介

私たち入退院支援室の看護師は、医師・薬剤師・社会福祉士・管理栄養士・事務員などと連携をとりながら、入院から退院までのサポートを行っています。

外来を受診され、入院が決定された患者さんやご家族の方へ、入院の案内や入院中の生活などを説明するとともに、現在の病状やお困りの事、ご心配なことなどをお聞きしながら、安心して入院できるように支援させていただきます。

また、入院された後も、不安なく退院後の生活を迎えられるよう支援させていただきます。

これからも、みなさまのお役にたてるように活動していきますので、よろしくお願いいたします。



ご案内図





リハビリテーション部門 充実したスタッフ構成

地域において、近隣病院には類を見ないベッド数に
対するリハビリスタッフの多さを誇っています。

常勤医師 2名 非常勤医師 2名
理学療法士 18名 作業療法士 13名 言語聴覚士 4名

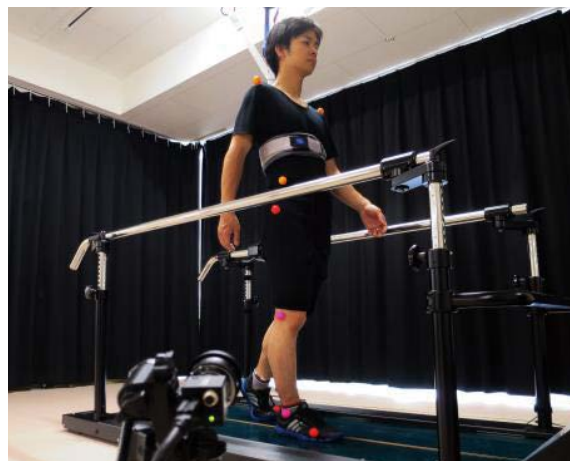


当院リハビリテーションの専門性

当部門はチーム連携を大切にしながら整形外科疾患、神経筋疾患、
内科疾患など幅広い疾患に対応しております。特に**痙縮治療**、**嚥下障
害治療**、**筋電図・神経伝導検査**、**心臓・呼吸リハビリテーション**に力を
入れています。今回、痙縮治療の一つであるボツリヌス療法について
ご紹介します。



チーム連携の要となるリハビリカンファレンス



三次元動作解析装置での歩行計測

けいしゅく

痙縮治療

注射で筋肉のつっぱりを治す！
——ボツリヌス療法——

脳卒中によくみられる運動障害の一つに「痙縮(けいしゅく)」という症状があります。当院リハビリテーション部門で力を入れている痙縮治療の一つにボツリヌス毒素の注射があります。この薬は、神経筋接合部での神経伝達物質の出力を抑制することにより筋肉の動きを滑らかにして、ADL(日常生活活動)やQOL(生活の質)を快適にする効果が期待できます。当部門では年間延べ140名以上に行っており、注射後も定期的に評価を行い今後の治療の必要性を判断しています。

1 痙縮って何?

脳卒中の後遺症などで見られるもので、麻痺した筋肉が無意識につっぱり、肘が曲がったままとなってしまうたり、歩く時などに体重を乗せても足底が床から浮いてしまうなど、手足が過剰につっぱってしまう状態のことです(図1)。



図1 手足がつっぱっている状態

2 痙縮の評価と治療

痙縮が軽症であればリハビリテーション治療、装具療法、薬物療法で対応することができますが、重症であればボツリヌス毒素の注射が適応となります。

ボツリヌス毒素の注射が決まると、つっぱりの程度、関節の角度、手足の評価を行い、医師と療法士で注射する筋肉を決めます。



図2 うでの評価場面

手の評価

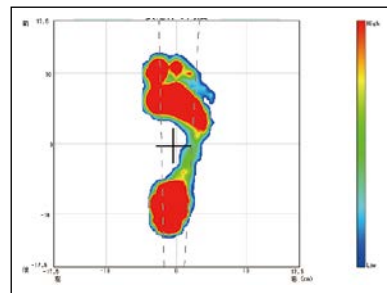
指の細かな動きや日常生活の中でのうでの動き、歩く時のうでの振り方などを評価します(図2)。

足の評価

シート型の機器の上を歩くことで、歩行の評価を行います。足にかかる圧や歩幅、歩く速度などを確認します(図3)。



図3 (a) 歩行の評価場面



(b) 健常者の足の底にかかる圧

注射する筋肉の特定

視診や触診、深い部分にある筋肉は電気刺激、針筋電図、超音波などの機器で検査を行い、筋肉の場所を正確に特定し、注射します(図4)。注射前、2週間後、6週間後、12週間後に定期評価を行います。

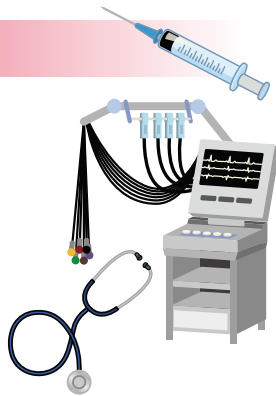


図4 超音波検査

3 痙縮の治療効果

注射の効果で痙縮は軽減し、手の握り放しがしやすくなったり、歩く速度が上ったり、足底が床に接地しやすくなります(図5)。

圧のかかる面積が広がる!

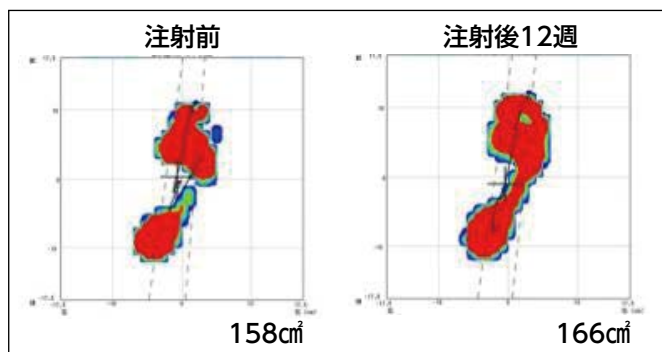


図5 注射前後での足圧面積の改善

日本の脳卒中患者数は約100万人を超えており、今後も脳卒中の患者数は増えるものと予測されています。当部門では、神経内科と脳神経外科と連携して「痙縮治療」を行っております。

痙縮でお困りの方は、お力になれるよう支援いたします。

まずは、リハビリ科を外来受診してください。



ぼんたね病院演奏会

場所 当院1階エントランス

時間 14時~15時

お誘いあわせの上、ぜひお越しください!

第37回 平成30年 10月13日(土)

天高くギター鳴り響く秋

美しい歌声と素敵なギターの音色で楽しいひと時を...

出演 歌: エミ ギター: シオミモトヒコ

第38回 平成30年 11月17日(土)

秋の午後、二胡の調べとともに

出演 BLUE ROSE<ブルー ローズ>

藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANBUNTANE HOTOKUKAI HOSPITAL

〒454-8509 名古屋市中央区尾頭橋3丁目6番10号

TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

QRコードで今すぐアクセス

ぼんたね

検索

